

# 立山駅周辺駐車場DXプロジェクト

## <テーマ>

観光地周辺の駐車誘導業務へのデジタルツール導入と  
駐車場利用者への利便性向上（ウェルビーイング）

## <課題>

駅周辺の駐車場が複数あり、利用者はどこに駐車していいかわかりにくい。そのため誘導管理業務は煩雑で人手と時間がかかる。土地柄駐車場に電源がなく、すべての駐車場にゲート整備するなどのコストはかけられない。

## <ソリューション>

### 現地案内板(サイネージ)の製作と設置



複数ある駐車場のどこが空いているかを現地でも確認できるよう、満空を○×LED表示するサイネージを設置。  
インバウンド対応、運転中でも視認性の良いデザイン。  
ソーラー電源駆動。  
○×切替は駐車場管理ツールで遠隔操作。



## 駐車状況把握のためのAIカメラ設置



駐車場の満空状況を遠隔で把握できるように各駐車場にカメラを設置。  
サイネージと同じくソーラー電源駆動。  
画像認識によって車両カウントも可能。

## 駐車管理ツールとWEBサービス



画像データ管理、駐車場のステータス管理を行う管理ツール（左）と観光客向けに満空ステータスをリアルタイム通知を行うサイト（右）を用意。  
現地到着前の状況把握のためのオンラインWEBと現地サイネージのオフラインとの併用で観光客への利便性を提供。  
運営側には誘導負担、管理業務の軽減に貢献している。  
利用者、運営者、当社の3方良しを追求。